展開案（２／３時目）＜中学校＞

◆本時のねらい：「強み」に着目した交流活動を通して、自分や友達の「強み」を見付け、「強み」の生かし方を考えることができるようにする。

◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を生かそう。

◆本時の展開（※については、授業者がスライドに加筆したり授業者自身の言葉で思いを伝えたりして、スムーズな活動につなげたり、学習への理解を深めさせたりすることもできます）

＊　ワークシートや振り返りシート等をまとめるもの（ファイル等）を準備します。

＊　４人グループには４色（赤、青、黄、緑）のシール（１色当たり　１人４枚×学級の人数）を準備します。５人グループには、更に追加の１色（桃）のシール（16 枚×グループの数）を準備します。

学習活動	ｽﾗｲﾄﾞ	指導上の留意点
（授業前）		・事前に「授業前アンケート」を書かせておくことにより、生徒の負担感を減らす。 ・交流活動ができる座席配置にしておく。 ・前時のワークシートと振り返りシートをまとめたもの（ファイル等）を返却し、自分の「強み」や学習を通した気付き等を思い出すことができるようにする。
１　前時の活動を振り返る。（２分）	1~3	・「強み」の定義や自分の「強み」、学習を通した気付き等を思い出させることにより、本時のめあてや交流活動につなげることができるようにする。
２　本時のめあてを知る。（１分）	4	・めあてを黒板に掲示して、確認したり振り返ったりすることができるようにする。
３　「星☆いくつ」の交流活動（４人*）を行う。（17分）	5~7	・座席ごとにシールの色を指定することにより、スムーズに活動を進める。
(1)　グループの友達に当てはまるものを４つ選んでシールを貼る。活動①	8	・自己肯定感が低い生徒でも安心して活動できるように、まず、友達に当てはまるものにシールを貼るように指示する。 ・生徒が活動時間の見通しをもつことができるように、提示した時間の10秒ほど前に声を掛ける。 ・期待感をもたせるために、３人目まで終了したら、ワークシートを裏返しにして、教師の合図で本人に渡すようにする。 ※　生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックすることにより、温かい雰囲気づくりにつなげる。
(2)　自分に当てはまるものを４つ選んでシールを貼る。活動②	9	・友達がシールを貼ったワークシートに目を通した後、自分に当てはまるものにシールを貼るように指示する。
(3)　自分の「強み」だと思う	10	・シールが多いものや自分がシールを貼ったものを選ぶのでは

ものを３つ選び丸印を付ける。活動③		なく、改めて、自分の「強み」と思うものを選ぶ活動を設けることにより、自己決定を促し、次の交流活動につなげやすくする。
(4)　選んだ「強み」と気付きを伝え合う。活動④	11~12	・選んだ「強み」と気付きを伝え合うことにより、互いに自他の「強み」を見付けることができるようにする。
4　「Step Up Webbing　～解決への一歩～　」の交流活動（４人*）を行う。 (23分)	13 14	・前時の活動と活動の方法が似ていることを伝えることにより、抵抗なく取り組むことができるようにする。 ・「星☆いくつ」の交流活動で選んだ「強み」を生かす活動を行うことを伝えることにより、活動に取り組む意欲を高めるようにする。
(1)　自分が苦手なことや困っていることの中で､解決したいと思っていることを１つ書く。活動①	15	・事前に書かせていた「授業前アンケート」から転記させることにより、負担感を減らし活動を円滑に進めやすくする。
(2)　友達が解決したいと思っていることを解決するためのアイディアを書く。活動②	16~20	・これまでの活動で見付けた友達の「強み」を参考にして、解決するためのアイディアを書くように助言する。 ・アイディアを考える際のポイントを例示することにより、アイディアを書くことへの見通しをもちやすくする。 ・生徒が活動時間の見通しをもつことができるように、提示した時間の10秒ほど前に声を掛ける。 ・期待感をもたせるために、３人目まで終了したら、ワークシートを裏返しにして、教師の合図で本人に渡すようにする。 ※　生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックすることにより、温かい雰囲気づくりにつなげる。
(3)　友達が書いてくれたアイディアを見て､これからやってみたいことや頑張ってみたいことを書く。活動③	21	・友達にアイディアを書いてもらったワークシートに目を通す時間を設けることにより、自分の「強み」が生かせそうなことに気付くことができるようにする。 ・友達のアイディアを参考にしながら自分が頑張りたいことを自己決定させることにより、自分の「強み」の生かし方を考えることができるようにする。
(4)　自分が解決するために頑張りたいことを伝え合う。活動④	22	・「聴き方のポイント」を再度確認して、安心できる雰囲気の中で伝え合うことができるようにする。 ・自分の「強み」を生かして頑張りたいことを伝え合うことにより、自分や友達の「強み」を生かしてみたいという意欲を高めるようにする。
5　本時の活動を振り返る。 （６分） (1)　振り返りシートに記述する。	23	・黒板に掲示した本時のめあてと活動を確認することにより、学習した内容を具体的に振り返ることができるようにする。

(2)　グループで気付きを伝え合う。		・気付いたことや感じたことをグループで伝え合うことにより、自己理解や他者理解を深めることができるようにする。 ※　授業全体を通した生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックしたり、学級や生徒の実態に応じて学習内容を具体的に意味付けたりすることにより、学習の効果を高めることができるようにする。
6　次時の活動を知る。(１分)		・次の時間も「強み」について学習することを伝えることにより、興味や関心を継続できるようにする。

◆評価の視点：「強み」に着目した交流活動を通して、自分や友達の「強み」を見付け、「強み」の生かし方を考えることができたか。

◆板書計画

いつでも確認できるように、「『強み』の定義」「『強み』を理解するポイント」「聴き方のポイント」を掲示しておきます。

交流活動の流れが一目で分かるように、活動名を拡大したものを提示します。

振り返りを全体で共有するために、生徒の発言を板書（・）します。

◆授業前の取り扱い

＊　交流活動におけるグループの人数は４人編成が望ましいが、４人にならない場合は、５人グループを編成する。その場合、ワークシートを回して行う活動では、指示通りに活動を進めて、３人回したところで終了する。

・グループを意図的に構成し、生徒の心理的な負担を減らすように配慮する。

・ワークシートや振り返りシートに、教師が気付いたことや感じたことを書いて肯定的なフィードバックをする。

・生徒が学習を振り返ることができるようにするため、ワークシートや振り返りシート、学級通信等をファイル等にまとめて、生徒に配付する。

・(例) 授業前や導入において、構成的グループエンカウンターを行うことにより、親和的な雰囲気づくりが期待できる。

◆授業後の取組例

・学級通信等で学習活動や生徒の感想を紹介し、家庭でも言葉掛けをしていただくようにする。
・教室に「強み」コーナーを設けて、見付けた友達の「強み」をカードに書いて貼らせ、学級全体で共有できるようにする。
・学年集会や掲示板で紹介する。
・行事と関連させる。